



# 防災だより

(発行元) 愛南町消防本部防災対策課 Tel.72-0131



## 1月17日は「防災とボランティアの日」 1月15日(月)～21日(日)は「防災とボランティア週間」です

平成7年(1995)年1月15日午前5時46分、兵庫県淡路島北部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、神戸市等で震度6が観測され、その後の気象庁の現地調査で神戸市等の一部地域で震度7であったことがわかりました。

この地震が原因と見られる火災は280件以上発生したとされており、次のとおり調査・報告がされています。

○火災は、特に揺れの大きかった地域を中心に、地震直後に同時多発したが、地震から1時間以上経過しても断続的に発生していた。

○出火原因の判明した火災において、最も多かったのは電気機器等の関連する火災であった。

○古い木造住宅の密集や家屋の倒壊・損壊が、延焼を助長した原因の一部として考えられる。

### ● 地震による火災を防ぐために

#### 1 事前の対策

- 住まいの耐震性を確保する。
- 家具等の転倒防止対策を行う。
- 感震ブレーカーを設置する。
- ストープ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かない。
- 住宅用消火器等を設置し、使用方法について確認する。
- 住宅用火災警報器を設置する。
- 転倒時消火機能や対震自動消火装置が付いた暖房器具を購入する。



#### 2 地震直後の行動 (津波のおそれがある場合は、すぐ避難。)

- 停電中は電化製品のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜く。
- 避難するときはブレーカーを落とす。

#### 3 地震からしばらくして (電気が復旧、避難から戻ったら)

- △ガス機器、電化製品及び石油器具の使用を再開するときは、機器に破損がないこと、近くに燃えやすいものが無いことを確認する。
- △再通電後は、しばらく電化製品に煙やにおいなどの異常がないか注意を払う。

愛南町では、家具の転倒防止や感震ブレーカーの設置に補助制度を設けています。詳しくは愛南町ホームページをご覧ください。



家具等の転倒防止



感震ブレーカー

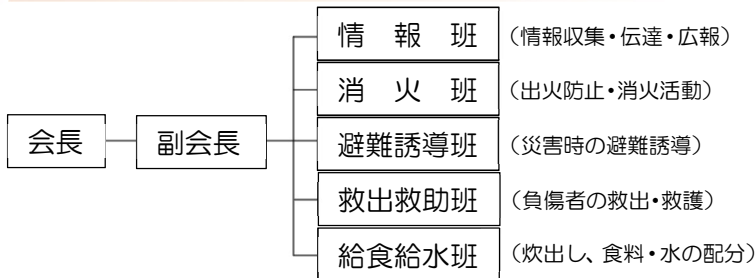
# 災害に備えましょう！

1月17日は  
「防災とボランティアの日」

## 自主防災組織(自主防)って？

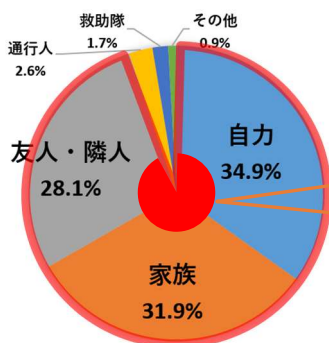
「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもと、自主的に結成する組織です。  
災害による被害を予防し、軽減するための活動を行います。

## 自主防災組織の体系の例



どんな活動をして、誰が何を受け持つか事前に決めておくことが重要！

## 自主防災組織の重要性



生き埋めや閉じ込められた際の救助

約 95%が  
地域の人による救助

## 自主防の活動

### 平常時の活動

1. 災害について学ぶ
2. 地域の安全を確かめる
3. 住まいの安全を確かめる
4. 防災訓練を行う
5. 防災資機材を備蓄する

### 災害時の活動

1. 情報の収集・伝達
2. 出火防止・初期消火
3. 救出・救護
4. 避難・避難誘導
5. 給食・給水

## ポイント

できることから始めて、継続すること！

- ① 無理なく、楽しく、継続できる活動を
- ② 警察・消防・看護師などの経験者を引き込もう
- ③ ほかの自治会とも連携し、情報交換
- ④ 県や町の講演会、研修に参加
- ⑤ 地域行事での炊き出しやテント立てが防災訓練に

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災では、救出者の約 95%が自力や家族、近隣住民などの地域の人たちにより救助されています。

大規模災害が発生した直後は消防や警察などの公的機関の救援が不足するので、地域で結束して災害に対処することが大切です。

## 栄町地区の自主防災活動 ～夜間避難訓練～

## 参考事例紹介



### タイムスケジュール

- 19:00 地震発生  
避難開始
- 19:30 テント設営
- 19:50 御荘中へ移動
- 20:00 訓練振り返り

### 活動のポイント

- ◆避難に車を使う(車中泊避難)ことを想定
- ◆夜間発災時を想定し、暗い中での避難を行う
- ◆訓練終了後、振り返り会を行い意見出し合う

訓練や活動のご相談は↓

【お問合せ先】防災対策課 TEL:0895-72-0131